

今回の研究にご参加いただける方

1. 当院の診断面接にてうつ病の診断に該当する方
2. 中等症以上のうつ病症状（簡易抑うつ症状尺度で合計得点11点以上）を認めている方
3. パソコン・タブレット・スマートフォン端末を所有し、ご自宅等にインターネット環境が整備されている方
4. 20歳以上70歳未満の方
5. 研究期間内に8回以上の来院可能な方
6. この研究に参加することに文書で同意していただける方

今回の研究にご参加いただけない方

1. アルコールなどの物質依存を認める方
2. 躁状態や妄想などの症状が、これまであるいは現在認める方
3. うつ病以外の精神科診断が主となる方
4. 自殺したいという気持ちが強く切迫している方
5. 重度あるいは不安定な状態の脳や身体の疾患がある方
6. 研究参加中に、構造化された他の精神療法を受けている方
7. その他、研究者が本研究を安全に実施するのに不相当と判断した方



認知行動療法とは

私たちの気分や行動は、物事へのとらえ方（これを「認知」といいます）に大きく影響されているという理解に基づき、治療者とその物事へのとらえ方を話し合うことで「認知」の幅を広げて考え方を柔軟にさせ、問題解決（行動）をやすくすることで、気分の改善を図っていく精神療法の一つです。これまでの研究より、薬物療法と同程度の治療効果があることが示されています。



わかりやすい動画はこちらから



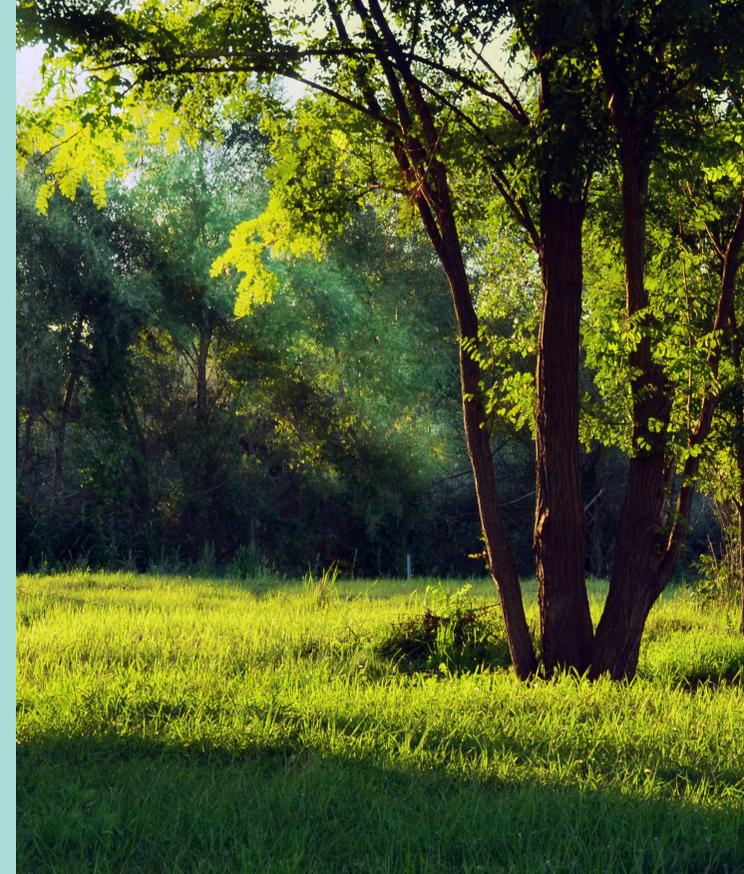
うつ病の成人に対するブレンド型認知行動療法： 多施設共同ランダム化比較試験

研究責任者：豊見山 泰史

九州大学大学院医学研究院 精神病態医学・助教

中尾 智博

九州大学大学院医学研究院 精神病態医学・教授



Ver.1.0(2021/2/10)

うつ病の成人に対するブレンド型 認知行動療法研究プログラム

研究参加のご案内

研究に参加するための条件を満たしているかどうかを確認するために診察と検査を行います。診察・検査の結果によっては、安全性の理由から研究への参加や継続いただけない場合がありますのでご了承ください。詳しくは担当医師または臨床研究コーディネーターにおたずねください。



◆ブレンド型認知行動療法研究プログラムについて

ブレンド型認知行動療法とは、インターネットサイトを用いることで、従来の認知行動療法よりも効率的に提供することができる認知行動療法です。

既に日本の医療機関において、うつ病の方を対象として、安全かつ有効に実施できることが確認されています。

◆研究プログラムの目的

日本では2010年からうつ病に対する認知行動療法は健康保険の対象となりました。しかしながら、わが国では認知行動療法を実施できる医療機関や十分なスキルを習得した治療者はまだ少なく、全く実施されていない地域があることも分かっています。

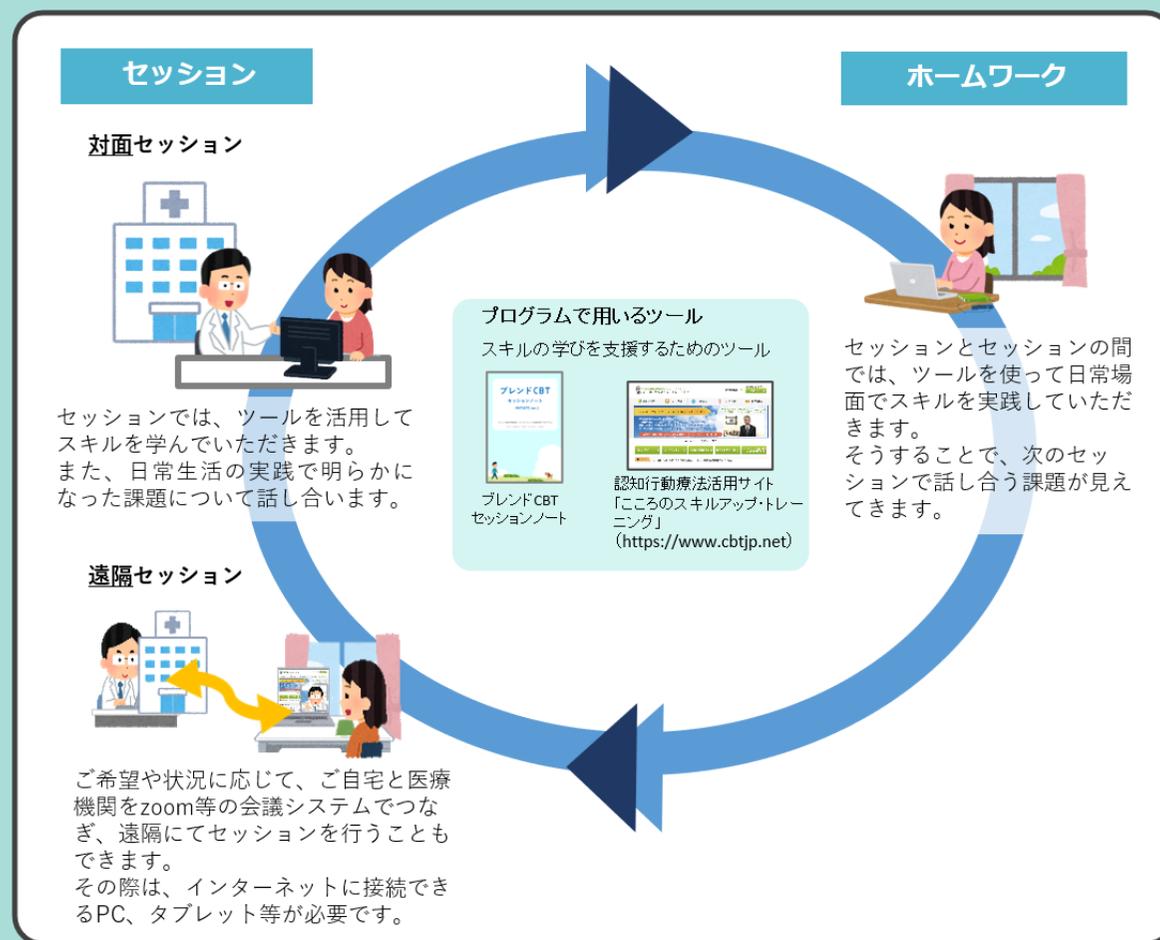
本研究では、より幅広い地域への認知行動療法の普及を目指して、全国の医療機関において多くの治療者が担当する「ブレンド型認知行動療法」が、安全かつ有効に実施できるかを調べることを目的としています。

◆研究プログラムの参加について

本研究の参加条件を満たしていることが確認されましたら、ブレンド型認知行動療法プログラムをすぐ行うか、4ヶ月間の待機後にプログラムを行うかを決定します。

なお、プログラムの開始時期はコンピューターによってランダムに決められるため、患者さんあるいは医師・研究者では決められません。

◆研究プログラムの流れ



◆費用負担について

本研究において実施される各種心理検査やツール使用料の自己負担はありません。

ただし、通常の外来診察の費用は、これまで通り患者さんの健康保険を使用してご負担をお願いします。

また、ご自宅などから遠隔セッションを行う場合は、インターネット通信料の負担が生じますのでご了承ください。

◆個人情報の保護について

本研究の被験者さまの検査データを含む臨床情報は、個人を特定できる情報は除かれ、研究データセンターにて厳重に管理されます。匿名化されたデータは、研究に必要な解析に用いられますが、患者さんのプライバシーは保護されます。

なお、本研究は九州大学病院倫理委員会の承認を受けて実施するものです。